



CTF通信

集う・遊ぶ
学ぶ・働く

第70号

2009年1月

発行：CTF松阪

年頭所感

CTF 松阪会長 川口保美

2009年“己丑”(つちのとうし)明けましておめでとうございます。

平成も21年になり今年の新成人は昭和63年(1988年)4月2日から平成元年(1989年)4月1日までに生まれた方だそう。今年も多くの新成人が祝福されるのであろうが、昨年来のリーマンブラザーズに端を発した経済の不振は今や経済恐慌となって世界中を吹きまくっており、新年も成人式も目出度い目出度いとばかり言っていられない現状である。

シャープ多気工場の生産ラインの閉鎖や、昨今の政治の虚しさを見聞きするとき、政治や経済に疎かった私も近々の動きについては無関心でいられない。

シャープ多気工場では先ず外国人や期間労働者の解雇から始まるそう。私の家の近くにも彼らの住むアパートがあるが、生活基盤の崩壊から、今までどおりの良好な人間関係が維持できなくなるのではないかと心配している。

消費税率上乘せがとやかに言われているが、問題になっていた定額給付金は如何になっているのだろう。楽しみにしていたのに貰えるのだろうか。

高騰が続いていたガソリンが最近下落傾向にある。暖房用の灯油が欲しい時これは有難い。松阪市では1月に市長選挙があり、国政の選挙も近々あるだろう。一票を投じてその結果に一筋の光明を見出したいと思っている。平成二十一年丸の船長は誰になっても舵取りを誤らないようお願いしたい。



私の名は？

「忘却とは忘れ去ることなり。忘れ得ずして忘却を誓う心の悲しさよ」春樹、真知子。このような言葉を以前から知っている人は記憶力の優れた人かも知れませんね！ 私はこの時代よりも後の世代ですので知りません。

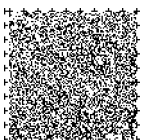
ところで、「何かをしようと別の部屋に行って目に付いた物をちょっと片付けたら、自分のしようとした事が分からなくなった」、「ガスコンロにかけたヤカンの水が消えた？(手品ではない)」、「電子レンジで温めようと扉を開けたら、♪冷たくなった〇〇〇を見つけて♪〜」、「犬猫病院でもらった薬をパンやチーズで丸め込んでいるうち、自分の口に入れる誘惑に駆られる(兼用ではなく、〇〇ですよ!)」。

皆さん朝ご飯は食べましたか？ 〇〇〇〇へん。〇〇〇〇へん。

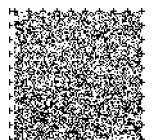
〇〇さん、〇〇さへん。・・・〇〇さんですね！。。。はっ「ハイ」診察室へどうぞ

〇けましておめでとうございます 本年もよろしくお祈りします

(W・H)



今月号は文字数が多いので、第1ページと第4ページにSPコードを2個ずつ付けてあります。
第1ページと第4ページでは、先に左下のSPコードを、次に右下のSPコードを読んでもください。





インストールさせる手口に知恵を絞る

いかなるスパイウェアと言えどもユーザーのパソコンに入り込まなければ情報は盗めません。そこでスパイウェアはユーザーのパソコンに潜り込む手口に知恵を絞るのです。

スパイウェアがユーザーのパソコンに入り込む手口は大きく分けて2通りあります。

1つはだましてインストールさせる方法です。例えば、オンライン・バンキングのログイン情報を盗むために使われたキー・ロガーは銀行名で郵送されたCDの中に入っていたり、取引先からの電子メールを装って送りつけられたりしました。郵便には「セキュリティ対策のためにCDのソフトをインストールしてください」という説明がついていました。電子メールにはメール本文にクレームが書かれ「クレーム内容を説明する画像」という名目でキー・ロガーが添付されていました。いずれも関係者なら開かずにはられないように工夫されていたわけです。

また、Web ページ上にリンクを用意して組み込んでおくという手口もある。ユーザーが興味を引くようなボタンにスパイウェアを貼り付け、思わずクリックさせてしまうという方法です。メール・アドレスを盗み出す Hachilem は画像リンクをクリックすると実行されるしくみでした。

もう1つは、有用なソフトに紛れ込ませて送り込ませる方法です。例えば、アドウェアなどユーザーによってスパイウェアかどうかの判断が分かれるソフトの多くは有用なソフトと一緒に送られてきます。ソフトをインストールするときには使用許諾の画面が表示されます。スパイウェア付きのソフトの多くは使用許諾用の画面に目立たないように「個人情報を収集して送信する」という意味の内容が表示されるようになっています。多くのユーザーが画面を読まずに許諾用のボタンをクリックすることを見越しているわけです。

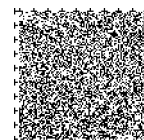
つづく

謹賀新年

2009年 元旦



CTF 松阪 役員一同

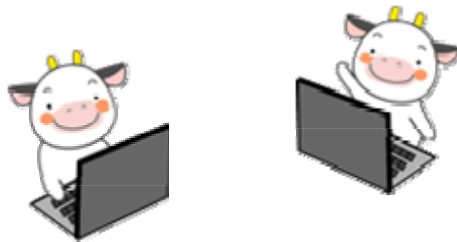


活動報告

【12月】

障害者対象個人向けパソコン講座
(2日、9日、16日)

障害者宅訪問 IT サポート
(6日、17日、20日)



活動予定

【1月】

障害者対象個人向けパソコン講座
13日、20日、27日
各9:30~11:30
松阪市障害者福祉センターにて



まつさか歴史街道

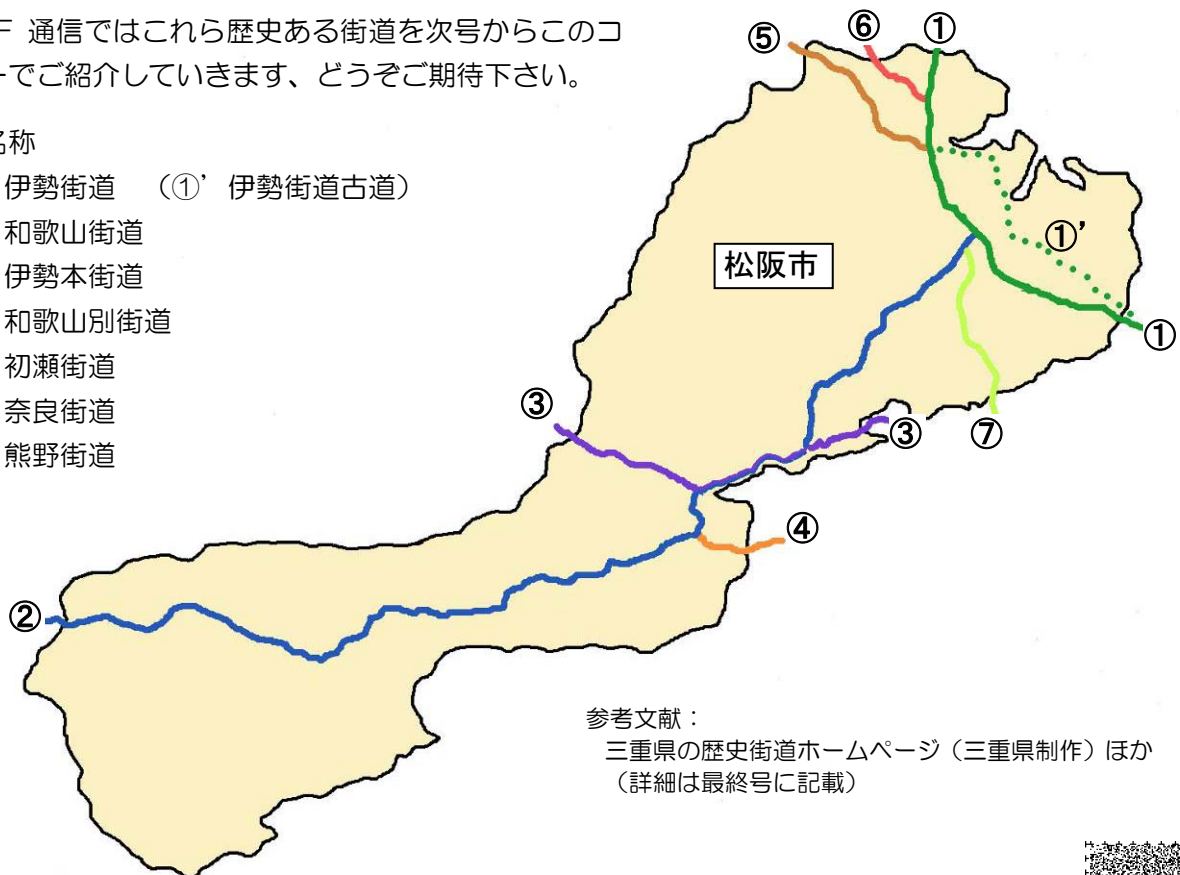
「街道」、それは単に人や物の移動・輸送手段ではなく、古来、人と人が出会い、ふれ合いの場となるとともに、新たな情報や文化が生まれる交流の場でもありました。

CTF 松阪の活動拠点である松阪市には多くの街道があり、古くは飛鳥時代から伊勢神宮に奉仕する斎王群行の道として、また江戸時代には紀州藩公道として使われたり、お伊勢参りの旅人が行き交ったりと、多くの人・文化・情報をもたらされてきました。本居宣長や松浦武四郎、松阪商人たちもこの街道を通じた情報・文化から生まれたとも言えます。

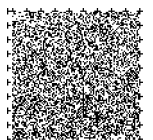
CTF 通信ではこれら歴史ある街道を次号からこのコーナーでご紹介していきます、どうぞご期待下さい。

街道名称

- ① 伊勢街道 (①' 伊勢街道古道)
- ② 和歌山街道
- ③ 伊勢本街道
- ④ 和歌山別街道
- ⑤ 初瀬街道
- ⑥ 奈良街道
- ⑦ 熊野街道



参考文献：
三重県の歴史街道ホームページ（三重県制作）ほか
（詳細は最終号に記載）



塞翁が馬

侑子

本業は特別支援学校の教諭ですが、副業としてCTFやダイコン一座の幽霊部員でもあり、さらに大きな副業として、今年度は今年高3になる息子が1才の時から所属している二分脊椎症協会の三重支部長もやっております。三重支部の親睦行事として、11月9日(日)に太陽号を借りてUSJに行く計画を立てました。

その日は朝から風が冷たく、また朝のうち小雨も降り、あいにくの空模様。集合場所まで行くと、なんと津駅で太陽号のリフトが下がったまま動かず立ち往生しているとの連絡がありました。調整もきかず、急遽「つばさ」のバスに入れ替えることとなり、津駅を出たのが1時間あまり遅れて9時過ぎ、松阪を出たのは10時をまわっていました。整備もしているし、前日までスムーズに動いていたとのことで、不運としかいいようがありません。USJについたのが1時30分、最大限現地で過ごす時間を確保するために、予定を遅らせて、4時30分まで3時間現地で過ごしました。現地では雨は止んでいたもので、ぶらぶら買い物をして過ごしたり、乗り物に乗ったり(障害者手帳のある方は、並ばなくても指定された時間にくれば、乗り物に乗れます)、少ない時間のなかでも密度の濃い時間を過ごすことができたのは何よりでした。運転手さんも大変だったと思いますが、誠意のある運転で気持ちよく過ごすことができましたし、おかげで高速代は久居交通がETCで払っていただいたので、その点ではラッキーでした。最後、松阪が夜8時と長い1日でしたが、めったにできない体験ができ、みんな風邪も引かずに元気に帰ってこられたので、思い出深い1日になりました。松阪のブロックでは、またこの春、USJに太陽号でリベンジしたいねと話しています。



編集後記

今年も皆さんにとってモーっといい年になりますように。



今年もよろしく

CTF 通信第 70 号

2009年(平成21年)1月発行
発行者 ITを活用した障害者支援NPO法人
CTF 松阪
発行責任者 川 口 保 美
住 所 〒515-0081
松阪市本町2181-1
電 話 0598-21-7268
U R L <http://ctf.dip.jp/>

